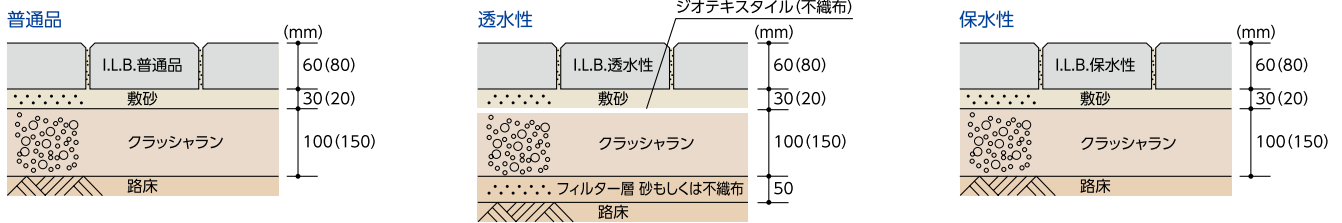


標準断面構造・物性

■ インターロッキングブロック標準断面構造

歩道・自転車道



注：()内の寸法表示は、駐車場・歩道などの乗用車乗入れ部、最大積載量6.5トン未満の管理用車両が走行する道路に適用するときの厚さを示す。

■ 歩道車両乗入れ部の舗装構造

乗り入れする車両	交通量(N)	交通量区分	普通インターロッキングブロック (cm)				
			ブロック層		上層路盤		下層路盤
			ブロック	敷砂	瀝青安定処理	粒度調整碎石	クラッシュラン
乗用車 小型貨物 自動車	$N \geq 3,000$	S ₄	8	2	8	—	19
	$650 \leq N < 3,000$	S ₃	8	2	5	—	12
	$300 \leq N < 650$	S ₂	8	2	—	8	10
	$N < 300$	S ₁	8	2	—	7	7

乗り入れする車両	交通量(N)	交通量区分	普通インターロッキングブロック (cm)				
			ブロック層		上層路盤		下層路盤
			ブロック	敷砂	瀝青安定処理	粒度調整碎石	クラッシュラン
大型車両	$250 \leq N < 1,000$	N ₅	8	2	10	15	19
	$100 \leq N < 250$	N ₄	8	2	8	—	19
	$40 \leq N < 100$	N ₃	8	2	5	—	12
	$15 \leq N < 40$	N ₂	8	2	—	7	7
	$N < 15$	N ₁	8	2	—	7	7

■ インターロッキングブロックの品質規格

種類	強度 N/mm ²		透水係数 m/s	保水量 g/cm ³	吸上げ率 %
	曲げ強度	圧縮強度			
普通ブロック	5.0以上	32.0以上	—	—	—
透水性ブロック	3.0以上	17.0以上	1×10^{-4} 以上	—	—
保水性ブロック	3.0以上	17.0以上	—	0.15以上	70以上
植生用(緑化)ブロック	4.0以上	28.0以上	—	—	—
試験方法	JIS A 5371 プレキャスト無筋コンクリート製品 推奨仕様B-3 インターロッキングブロックによる				

※すべり抵抗値(BPN)は、歩行者系道路では40以上、その他は60以上とする。

インターロッキングブロック舗装設計施工要領(一般社団法人インターロッキングブロック舗装協会、2017年3月)に準拠